ナス科ナス属

# とヨドリジョウゴ(鴨上戸)

Solanum lyratum Thunb.

#### 自生環境

林縁、道ばたなど

#### 原産地

日本在来

#### 生育を脅かす要因





市内全域で普通に見られますが、雑 木林の伐採や開発は、重大な脅威となります。またアレチウリなど外来のつる草が林の縁ではびこると、生 育場所が奪われてしまいます。

### 特

- 🏫 林の縁などで絡みついたり覆いかぶさったりしながら、 つるを長 くのばす多年草です。 名前は、ヒヨドリが果実を好んで食べそ うと連想したためつけられたもので、古い時代にはホロシとも 呼ばれていました。
- 🏠 夏から秋にかけ、 葉わきからのびた柄の先に、 小さな白い花が 数個ずつかたまって咲きます。 花びらは時間の経過とともに後 ろへと反りかえります。 秋が深まる頃に果実は熟し、 まるで宝 石のように赤く輝く果実が多数ぶら下がります。
- ☆ 茎や葉には白くてやわらかい毛がびっしりと生え、 ふわふわした 感触があります。葉のかたちは同じ株の中でも多少変化があり、 耳のような部分ができることもあります。



## 美味しそうだけど有毒

ヒヨドリジョウゴの果実は秋に真っ赤に熟し、ぱっ と見はとても美味しそうです。しかも分類上は野菜 のナスと同じ仲間なので、もしかしたらと思ってしま いそうです。ところが、じつはナスの仲間は毒持ち (しかもそれなりに強力) のほうが多く、ヒヨドリジョ ウゴも人には有毒です。鳥さんは多少ついばみま すが人気はイマイチ。名前のもとになったヒヨドリも、 積極的には手を出さないようです。









